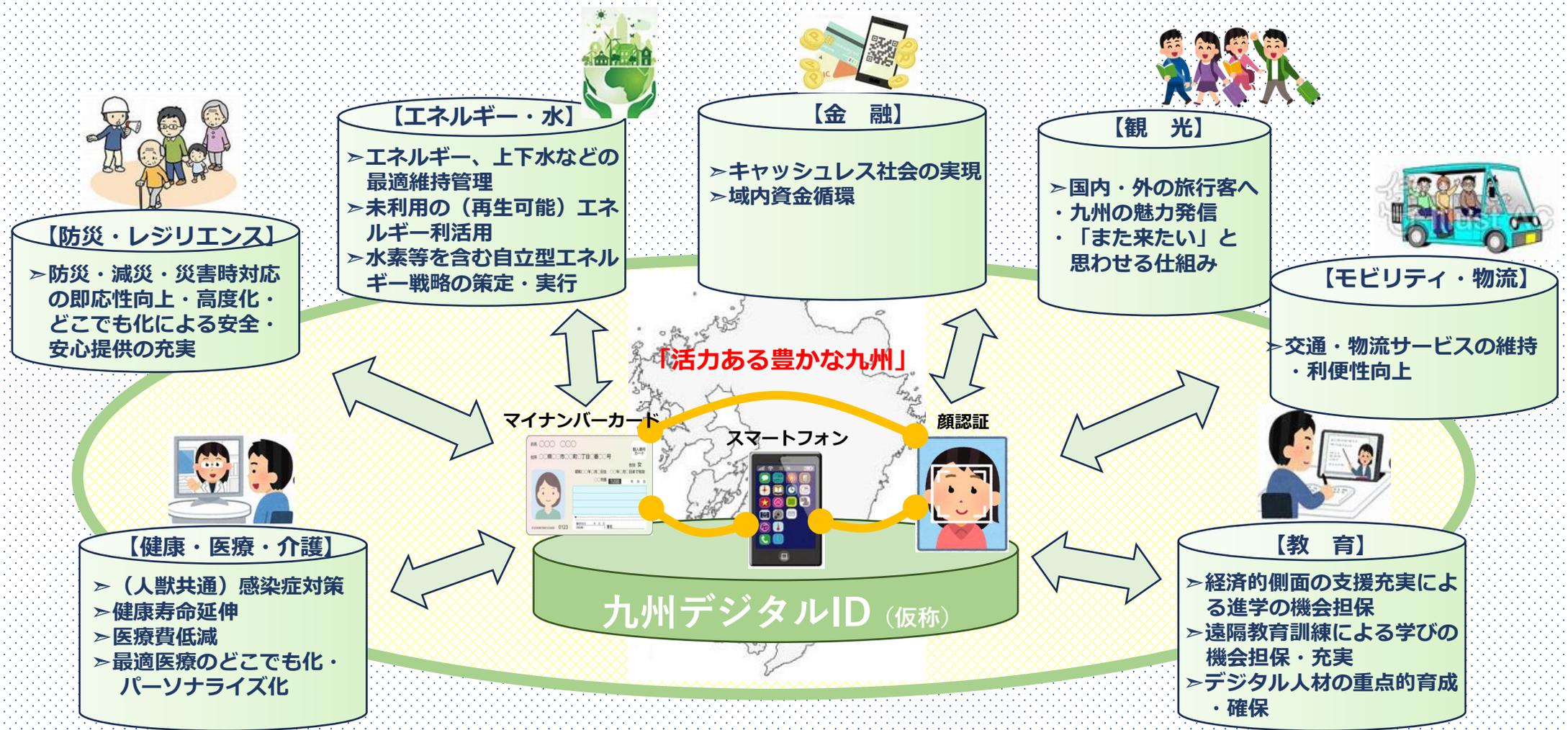


■ サービスアイデア 取組イメージ (案)

■ マイナンバーカード×スマホ×生体認証によるデジタル認証IDを構築

- ・ 共通化・共有化で効率化を実現
- ・ データ利活用で新たな価値を創出
- ・ 広域化で (基礎) 自治体間サービス格差を解消
- ・ デジタル認証IDの整備でサービスの各個人最適化を実現



■ QDPを活用したサービスモデル/アイデア イメージ

■ オープンデータ及びパーソナルデータを活用した新たなサービス提供



官民が保有するオープン/パーソナルデータデータを活用した、新たなサービスの創出
(本公募におけるサービスモデル/アイデア募集内容)

データ仲介、及びパーソナルデータ活用に必要なデジタル認証IDの管理を行う基盤の構築検討
(本公募内容の対象外)

■ 事業アイデア 創出の考え方

考え方1 1つの行動から関連する行動の紐づけ（連携）によるワンストップサービス（OSS）

人の特定の行動から関連する行動に対して、データを連携させワンストップサービス（OSS）を行う

- 例）・引越OSS（行政への転居届→準公共サービス、銀行口座住所変更→行政転入届）
- ・通院・患者OSS（病院予約→タクシー手配→病院受診→タクシー手配→薬配達→決済）

考え方2 複数のアナログをデータ化し、他業務との連携による業務の効率化と新たな価値を創出

行政申請における申請者・行政側双方のデジタル化・書式統一化による業務の効率化と価値創出を行う

- 例）道路占用許可申請手続き / 九州内大学短大の入試申請手続きのシステム統一化による省力化

考え方3 個々人のデータを活用した行政（住民）サービスの創出（プッシュ通知等）

ゆりかごから墓場まで人をデータ管理し、対象の人へ行政ワンストップサービスを行う

- 例）幼児の各接種受診や成人の定期健診等の情報提供と予約受付 / オンライン選挙

考え方4 人や事象に対する個々のデータの組合せや共有・集約することで有効活用する（サービス創出）

対象とする人や事象に関連するデータの組合せを共有し、見える化することで新たな価値を創出する

- 例）・河川水位情報の把握による減災対応、気象情報を活用した熱中症対策、子供の見守りサービス
- ・気象情報+地域（学校）行事→コンビニやスーパーのマーケティングに活用
- ・病気の発症予測（電カル+検診+問診+PHR）、通院及び投薬情報の把握による早期治療・対応